

10805プラスチック製品製造業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	14~15	当社第3シート工場7号機の巻取機のベルト交換が完了し、カバー取り付け後、カッターアーム油圧シリンダーと棒を固定しているブラケットが外れて位置がおかしくなった。ブラケットを留めるためにカッターアームを持ち上げた際、ターレット部のガイドロールに胸部が圧迫されて負傷した。	24	7	169	100 ～ 299
2	2017	12	5~6	第4工場FS-9号機のプレコーターでシャットダウンのため、HRサービスタンクのフィルターを交換していたとき、隣に設置されたプライマーサービスタンク付近で音がしたため振り返ったところ、プライマーサービスタンク上部が発火しており、その火に触れて火傷を負った。	37	11	519	100 ～ 299
3	2017	12	20~21	押出課7棟製造現場で、樹脂製品の生産をスタート中に、製品にねじれが発生したため、引取機の手前でねじれを矯正していたときに、作業着の袖が引取機に挟まれ、同時に右手も巻き込まれ、右手中指と人差し指が潰れた。	39	7	169	50 ～ 99
4	2017	12	13~14	商品の測定作業を終え、テストにかけた商品をゴミ箱に捨てようと椅子から立った際、眩暈を起こし、右隣にある別の作業台に右前腕を強打し受傷した。	34	3	419	—
5	2017	12	5~6	被災者は、当社第二工場9号パンチャー機搬送ラインにて製品検査作業を行っていた。その際に、コンベアー駆動の軸とベルトが空回りをしていて製品が搬送されなかったため、集積された	23	7	229	100 ～

				製品を取り出そうとして左手を伸ばしたとき、裁断後の製品を集積している集積テーブルが下降し、集積テーブルとコンベアーの間に左手が挟まってしまい負傷した。				299
6	2017	11	13～ 14	製袋3号機縦水冷バーで、水冷バー下へテフロンシートの貼り付け作業中、上の水冷バーと下のゴム台の間で、2人作業を行っていて、1人の作業が完了していなかった。2人でそれぞれの作業をしており、1人が反操作側での作業を行っていた為に、目視で確認が出来ず、誤ってスタートをしてしまった為、指先を挟まれた。	36	7	169	100 ～ 299
7	2017	11	11～ 12	工場内で、機械装置のそばで生産を見守っている時に、上昇するパンチ機内に残された製品を取り出そうと、咄嗟に手を入れたところ、間に合わず、右腕を挟まれてしまったものである。	35	7	169	10 ～ 29
8	2017	11	8～9	2号棟花卉加工場内にて、上司の指導通りに、スカシユリの茎と葉の間に指を入れ、力を込めてその葉をこそぎ取る作業を続けていて、作業中から痛みがあったがゴム手袋を外せず、休憩時間に確認すると、爪は割れ、出血もしていた。上司からは絆創膏を貼るよう指示があったので、同僚から絆創膏をもらい応急処置して作業を続けたが、激しい痛みが続き、翌日病院を受診した。	34	8	162	10 ～ 29
9	2017	11	17～ 18	BACK溶接L工程で、ロボット異常停止の復旧作業時に、設備内へ入る際は進入扉からセーフティープラグを抜いてから入らなければいけないところ、セーフティープラグを抜かず治具正面からL2st裏へ進入した為、センサー異常の復旧後、ロボットが作動してしまいロボットスライドレールのストッパーとロボットとの間に挟まれて、右大腿部を骨折した。	19	3	154	30 ～ 49
10	2017	11	9～ 10	派遣先において、10tトラックの荷台に積まれたゴミの確認を行う為、トラックの梯子を登っている時、次の段へ上がろうと右足を浮かせたところ、左足が滑り転落（高さ約2m）した際、左	50	3	416	100 ～

				踵、右足及び左尾てい骨を負傷した。				299
11	2017	11	11～ 12	粉碎機の下で作業している時に、粉碎機の上に置いてあったハンマーが振動で落下してきて、右手の小指に落ちてしまった。	24	4	364	10 ～ 29
12	2017	10	13～ 14	製袋機械で、原反を送り出しに送り込む作業中に、誤って薬指を挟み負傷した。	46	7	163	100 ～ 299
13	2017	10	10～ 11	当社の東工場において、プラスチック材料を面取り機にてR面取り加工をしていた。手に材料をもって滑らせて押している作業で、気が付かず材料といっしょに刃物の所へ指が接触して負傷した。	42	8	159	30 ～ 49
14	2017	10	14～ 15	1F作業場の京利製5tプレス機械設置場所でプラスチックフィルムの抜き調整するための試打を行う際に発生した。通常そのテスト用フィルムの長さは10cm以上のものを使用することを徹底していたが、今回は10cm以下の短いものを使用したため型の中に左手人差し指の爪の元より指先までを挟み、創傷する事となった。	71	7	154	30 ～ 49
15	2017	10	16～ 17	工場内の切断作業場で樹脂を切断中に残材を切断していた所、不用意に右手を出してしまい、切削刃物で親指を裂傷し、小指の爪のあたりから切断してしまった。	72	8	169	1～ 9
16	2017	10	10～ 11	製品検査のための工場内で、製品が入った台車を移動する際に、本人の不注意にて台車の車輪に右足が挟まれ、負傷した。痛みがあり、骨にひびが入っていることが判明した。	51	7	362	50 ～ 99
17	2017	10	17～ 18	本社製造所A棟211・212号機架台上で、作業終了後の片付けをしているとき、掃除機と延長コードリールを階下に下ろす作業中に、両手に荷物を持ち、手摺に掴まっていなかったため、右足を踏み外した際、滑り落ちるように落下した。手摺の支柱に	28	1	413	30 ～ 49

				掴まろうとしたが、支柱と側板の内側に小指を挟まれ、右手小指が切断された。				
18	2017	10	15～ 16	台風通過後の強風時に事業場内の1F南の大扉前で、干したタオルを回収し、両手に抱えて建物内に戻る途中、足元に置いてあった園芸用のネットが強風にあおられ足に絡まり、前のめりで転倒し負傷した。	59	2	379	50 ～ 99
19	2017	10	15～ 16	自社の作業場において、プラスチック板の一辺を斜めにするため、角度をつけながらカンナ機で削っていた。通常も被災時も機械には保護カバーがつけられていたが、角度をつけていくたびに保護具をずらして確認後、作業に移らなければならないところ、その確認を怠り、死角がある状態でプラスチックを移動させてしまい、右親指が削られてしまった。	43	8	169	1～ 9
20	2017	10	9～ 10	工場内にて、ポリエチレンの製袋作業をシーラー機にて行っていた時、機械のプレスが下がり右手中指を挟んだ。挟まれた際に指を引き抜こうとし手を引いたところ、指の爪がはがれ、右手中指の骨にヒビが入り負傷した。	54	7		10 ～ 29
21	2017	10	9～ 10	会社玄関2階で外出時、玄関ドアを開けたら突風に煽られてふらつき、2階のステップより踏み外し1階の歩道まで転げ落ちた。	39	1	413	10 ～ 29
22	2017	10	22～ 23	第二工場、製函室にて、ダンボールを組み立てて、ベルトコンベアに流す作業中、ダンボールを置いていたパレットが空いたので、手で持ち上げて片付けようとしたところ、手が滑り左足の上に落としてしまった。	53	4	379	300 ～ 499
23	2017	10	14～ 15	お客様の納品スペースにて、トラックより製品2パレット内、奥パレットを引き出す際、けん引棒がパレットへきちんと引っかかってなかった為に、けん引棒が外れてしまい後ろへ転倒。当日途中まで作業できていたが、夜中に激痛と腫れがあり、骨折していた。	59	2	379	10 ～ 29

31	2017	8	20～ 21	HIPS製造部2号機巻取機で下巻仕様の製品の自動巻き付け作業中、満巻の巻軸を停止後、シートをカッターナイフで切り、紙管にテープで貼り付け、フットスイッチで巻軸を起動した。しかし、テープが剥がれたため左手を添えたところ、軍手の先から巻軸に巻き込まれて負傷した。	23	7	166	100 ～ 299
32	2017	8	10～ 11	本社工場内にて、FRP（強化プラスチック）板（1350×1500×30mm）をパネルソー上でカット作業中、位置合わせのため少し横に移動させたところ、手前へ傾き、そのままFRP板（約90kg）が落下し、底部が右足甲に当たり負傷した。	42	4	529	1～ 9
33	2017	8	14～ 15	会社内において、金型移動作業中、金型（350×270×350）の上に乗る、他の金型を移動させようとしたときに右足を滑らせ、金型で右膝を強打し負傷した。	75	3	379	10 ～ 29
34	2017	8	15～ 16	成形機の段取作業中、コードが当該機械に引っ掛かっていることに気が付いた。そこで空箱の上に乗って手で除去しようとしたところ、空箱がひっくり返り、転倒して負傷した。	47	1	379	30 ～ 49
35	2017	8	12～ 13	塩化ビニルコンパウンドの製造ラインにおいて、原材料を計量し、ミキサーで安定剤の鉛化合物を原材料に混ぜて攪拌する作業をしている際、作業場の大気中に飛散した鉛成分が労働者の体内に取り込まれて蓄積され、鉛中毒の症状が出た。	58	12	514	10 ～ 29
36	2017	8	16～ 17	ウェルネス事業部の出荷作業場で、空のダンボール箱を片付けているときに、パレットのダンボール置場の一番下のダンボールが、少し斜めに通路にはみ出ていたため、左足を引っ掛けて転倒し、左手首で体を支えることができず、顔面を床にぶつけ負傷した。	58	2	529	50 ～ 99
37	2017	8	15～ 16	倉庫棟内にて、製品検品を行う為、5段に積み上げられている製品コンテナ（L1200mm×W1200mm×H1200mm）を床上に平置きする作業を実施後、フォークリフトから降車しようとしたときに、左足首を床面（高さ400mm）でひねり、捻挫をした。	40	19	222	10 ～ 29

38	2017	8	22~ 23	ポリエチレンフィルム製造中、チューブ切れを起こしたため、再始動するための準備を引き取り装置に乗って行っていた。切れたチューブが足元に落ちていたものを片付ける時に誤って片足を踏み外したため後ろ側から落ちてしまった。	47	1	169	10 ~ 29
39	2017	7	16~17	工場内で業務用扇風機1台を設置し1名で自動車部品のバックボードを段ボール箱につめていた。急な気温上昇と暑さがキビシくなった事により作業中に熱中症になった。※当工場内、作業員全員には、特に作業場へ「水」等の持ち込みを指示し、体調の変化があれば「声出し」にて休憩を取ってもらっている。	66	11	715	30 ~ 49
40	2017	7	8~9	第2工場の成形ライン7号機にて、製品検査・梱包中、成形カット機に付着したゴミを除去しようと、電源を切らずに作動中の成形カット機に誤って手を差し込んでしまい、刃物と接触し、右手人差指と親指の先端を切断してしまった。	45	7	169	30 ~ 49
41	2017	7	8~9	切断機を使っているときに隙間に入ってしまった製品を取ろうとしたときにボタンを押してしまって指を挟まってしまった結果、打撲を負った。場所は本社工場である。	38	7	159	30 ~ 49
42	2017	7	9~10	工場内にある自動スタンプ機で作業をしている時にスタンプ機より金具が外れて右手の上に落下した。	43	4	169	10 ~ 29
43	2017	7	11~12	ラベラーマシンから排出されるボトルがマシン搬出口に詰まったため、咄嗟的にボトルを外そうと左手をカバーの中に入れてしまい、ボトル搬送用の羽根に左薬指の第一関節先をはさまれてしまった。	37	7	169	50 ~ 99
				当社第二工場金型組立場で、発泡スチロール成形用の金型（上段15kg、下段20kg）を電動チェーンブロックで吊り上げて、オス型とメス型をはずす際に、誤って金型と台車の間で右手人差指を挟み、負傷した。側にいた現認者の私が包帯を巻いて応急処置を施し、すぐに救急車を呼んで治療を受けた。被災原因				10

44	2017	7	11~12	は、金型を載せた台車の向きが通常と違っていたために、（台車の向きがちゃんとしていれば）チェンブロックで吊り上げた時にスムーズにはずれるはずの金型がはずれにくく、そのためにあわてて右手を金型の底の部分に入れてしまったと思われる。その時に金型が突然はずれたので、台車との間に右手人差指を挟み、負傷したのではないかと推定される。	29	4	612	~ 29
45	2017	7	8~9	完成品を入れる空コンテナを機械にセット（供給）していた時。一度、空コンテナを機械に供給し次の空コンテナを取ろうとし、振り向き様に（周囲の確認を怠っていた）リーチフォークと鉢合わせになった。（この時、安全靴を忘れたため、スニーカーで仕事をしていた。）その際、リーチフォークリフトの左前輪に左足小指部分を踏まれ、さらに前輪アームの突起と右足の脛を接触させたため、受傷。	62	3	222	100 ~ 299
46	2017	7	21~22	第1成型に於いて、端尺の原反を隣の原反置場に移動するため、2人で鉄芯の両端を持ち、持ち上げた際、腰を痛めた。	47	19	529	100 ~ 299
47	2017	7	22~23	インターの間で、処分場から現場へ戻る途中、前方から鳥が飛んできて避けようとハンドル操作を誤り、追越車線側のコンクリート壁にぶつかった。	28	7	222	30 ~ 49
48	2017	7	10~11	工場2階で金型交換の原料抜き取り作業において、約50cmの高さの踏み台に上がるとき、誤ってバランスを崩し背中から倒れて、頭からお尻あたりを打撲した。	27	1	371	10 ~ 29
49	2017	6	13~14	型メンテ場で型サン作業中、気温・温度が高かったため気分が悪くなり、歩行不能となった。	41	11	715	50 ~ 99
50	2017	6	21~22	当社シート第3工場5号機にて、機械メンテナンスの点検作業中、配電盤が回転している冷却ファンに右手を近付け過ぎた	30	3	169	100 ~

				為、右人差し指をぶつけ負傷した。				299
51	2017	6	5~6	当社工場にて、成形機ポッパー内の原料確認をする為に階段を上ろうとしたところ、一段目を踏み外して転倒し、右足首を捻挫した。	44	2	413	10 ~ 29
52	2017	6	18~ 19	工場内の組立部屋にて、圧入及び自動機検査の作業を実施していたところ、突然圧入機が動作し、下治具と上治具の間に右人差し指を挟まれてしまった。	50	7	169	10 ~ 29
53	2017	6	8~9	当社工場内において、不良品をコンベアで粉碎しようと、コンベア投入口まで不良品を両手で持って歩いている途中、成形機裏側のエア配管に足が引っ掛かって転倒し、左膝を負傷した。	62	2	419	30 ~ 49
54	2017	6	16~ 17	会社工場内のマニシングセンターにて、プラスチック製品を切削加工中、製品が加工中に飛ばないように手で押さえていたところ、手の位置が刃物の進路上にあり、手を離すのが遅れてしまい、刃物に右手が巻き込まれてしまった。	23	8	169	10 ~ 29
55	2017	6	19~ 20	休憩時間に屋外へ出ようと工場内を歩行中、前方に製品を置くための板を発見し、そのまま踏み越えようと足を乗せたところで板が滑り、転倒して右膝を強打した。	39	2	522	10 ~ 29
56	2017	5	9~ 10	当社工場において鋼材を研磨中に、右手に持ったディスクグラインダーで、誤って鋼材を押さえていた左手の親指を砥石がはねて当たり、腱を切った。	57	4	153	10 ~ 29
57	2017	5	2~3	工場横の通路で、リフトの運転を交替する際、先に降りてリフトが移動するのを待っていた時に、次の運転者が先に降りた本人との距離を見誤り、安全靴着用済みの左足甲をリフトで乗り越えられてしまった。	36	7	222	100 ~ 299
				3号機へ原料シートを設置する際、本来であれば原料シートの芯に芯棒を通し、その芯棒を使って原料シートを横に倒すところ				30

58	2017	5	2～3	ろ、芯棒を通さず、直接原料シートを横に倒そうとした。原料シートを横に倒した際に原料シートと床の間に右手が挟まり、怪我をしてしまった。	52	5	529	～ 49
59	2017	5	16～ 17	ブロー1号機で製品重量を調整する作業をしていた。右手にハンマー、左手に長さ20cmの鉄棒を持ち、ボルトの頭を叩きながら重量を調整していたときに金型が下りてきて、右手人差し指を挟んだ。	25	7	169	30 ～ 49
60	2017	5	21～ 22	プラスチックフィルム製造過程で、延伸切れトラブルが連続して発生した。トラブルを解消し通紙作業に入った際、低速回転している最終ロールとピンチロールの間に左手人差し指が巻き込まれ、急いで自力にて引き抜いた際、指先の肉が引きちぎれた。	47	7	169	50 ～ 99
61	2017	5	20～ 21	ポリエチレンチューブを製造時、巻き取った原反を巻取機から外すため、ハンドリフトの昇降レバーを操作した際に、リフトの後ろにあった塩ビ管とレバーの間に指を挟み、左手中指を負傷した。通常ハンドリフトのレバーは、リフト正面で操作しているが、事故の際は塩ビ管が多数あり正面で操作出来ず、塩ビ管を動かさず、斜め右方向より左手だけで操作したために事故が起きた。	40	7	229	10 ～ 29
62	2017	5	20～ 21	工場内で、成形3号機にて、検品及び梱包作業をしている時、出来上がった製品を、取り手作業台から取る際に作業台の仕切りに左腕をぶつける。その時に左前腕部を損傷したと思われる。	44	3		50 ～ 99
63	2017	5	9～ 10	組立第二工場内にある3V4G自動機に成形単品を供給するため、単品が入っているバケットを持って踏み台に上った。単品供給を終え、空バケットを持ったまま踏み台を降りたところ、左足ふくらはぎに強い痛みを感じ、歩くことが出来なくなった。	45	19	371	300 ～ 499
64	2017	4	14～	当社工場内にてバラシ作業中、製品を持っていたため足元が見	38	2	416	30 ～

			15	えず、台車につまずき転倒し左膝を負傷した。					49
65	2017	4	10～ 11	本社工場内にて、担当していた成形品があと少しで生産完了となるため、成形機の原料残量が不足していないか確認する必要があったが、成形機の原料投入口には、蓋に固定される形で吸引式原料供給装置が載せられていた。本来であれば蓋および原料供給装置を成形機から取り外してから、原料の残量を確認すべきところではあったが、作業が面倒だったので、原料投入口の縁に左手をかけ、載せられていた供給装置を蓋ごと右手で押し上げる事により、投入口と蓋の間に隙間を生みだし、残量の確認をする事を目論み実行したところ、右手が滑ってしまい原料供給装置および投入口の蓋が左手指先に落下し負傷した。	26	4			1～ 9
66	2017	4	8～9	工場内で機械の清掃をしている時に機械を動かしながら、体を機械の中に入れて清掃し、頭を挟まれてしまった。	38	7	169		10 ～ 29
67	2017	4	13～ 14	第3工場成形工程において成形後の製品（クロスウェーブ）のバリ取り、検査後に積み重ね作業の実施中、高い位置の積み重ねがズレ、その修正をする為に裏側に回り高い位置のズレをジャンプして直そうとし、着地時に右膝を痛めた。高い位置への積み重ねの為に4段の階段式作業台は常備してあるが、作業者の方は利用せず作業を行ってしまった。	51	3	416		50 ～ 99
68	2017	4	9～ 10	工場内で粉碎作業中に、粉碎機の手を入れてはいけない部分に不注意で指先を入れてしまい、左手の中指の先を損傷した。	32	7	162		10 ～ 29
69	2017	4	10～ 11	工場内加工室で製袋作業中、製袋機のポリオレフィンフィルムを送るためのゴム製ローラーに付着した汚れを取ろうとして右手を伸ばしたとき、機械を停止しないまま作業を行ったため、ローラーとローラーの間に右手小指を挟まれた。	44	7	163		30 ～ 49

70	2017	4	14~15	食品容器を製造する工場にて、製品を入れる為のダンボール組み立て作業中、段ボールを束ねていたビニール紐を外しゴミが出た為、作業していた場所の向かい側にあったゴミ箱（約2~3m）へ捨てに行き、戻る途中に通路で右足を捻った。	21	19	417	100 ~ 299
71	2017	3	19~20	被災労働者は、成形作業を行っていた際、成形機表側の粉砕機の中に手を入れランナーを引っ張って取り除いていた。しかし、一度ではうまく取り除けず残っていた為、さらに奥まで手を入れ取り除こうとした時、左手中指が粉砕機の刃に巻き込まれ負傷した。	19	7	162	50 ~ 99
72	2017	3	15~16	工場内で通常作業中、半製品（丸いロール状）にカバーをかける作業中、引っぱり過ぎて足の上に乗せてしまった。その際に安全靴を使用していたが、左足甲を痛める。	31	4	611	100 ~ 299
73	2017	3	10~11	ロックン10号機の型替えを2名の共同作業で行っている際、型取付ゲージの調整を相方が指導に来たので本人は1歩さがって作業場所を譲ろうとした時、足場のない部分よりピット内（高さ約2.7メートル）に落下した。	27	1	414	50 ~ 99
74	2017	3	13~14	作業中、機械の起動ボタンを押したのと同時に背後から声をかけられ、左に振り向いた時に右手人差し指が機械に挟まれた。なお、ボタンを押してからプレスが下りるまでは3秒である。	42	7		10 ~ 29
75	2017	3	16~17	派遣先工場内にて、不良品等のプラスチック製品を粉砕し、再利用するための前工程として、帯縄を使用して切断していた。回転する鋸の刃に製品が接触した際に反発が生まれ、その反発で製品を押さえていた手元がずれ、左手中指を巻き込まれて負傷した。	55	7	169	10 ~ 29
76	2017	3	14~15	第二工場で梱包作業の際、体勢を整えようとしたとき、床面に左膝を打ちつけた。	61	2	416	50 ~ 99
				プラスチック（容器）を製造中にノズルボディを冷やすホース				

83	2017	2	8~9	第2工場西側シャッター付近で製品搬送作業中にフォークリフトに製品を乗せてバックしながら曲がって外に出たところ、第3工場へ向かっていた被災者と接触し右足を負傷させた。	65	6	222	30 ~ 49
84	2017	2	8~9	第二倉庫にてプラスチック廃材をプレスして針金で結束する機械をリモコン操作をしている時に、針金が出てくる穴の中の異物を除去しようと、左手を入れたところ右手で持っていたリモコンのプレス作動ボタンを誤って押ししまい左手がプレスに挟まれ骨折した。	25	7	169	1~ 9
85	2017	2	15~16	本社作業所にてアイライナー容器のバネを圧縮作業中、容器がずれたため元に戻す際に誤って圧縮機に左手小指を挟まれてしまった。爪半分を損傷（はがれ）、激痛のため身動きがとれず、現認者に至急病院へ搬送してもらった。	49	7	363	10 ~ 29
86	2017	2	14~15	当社製袋工場内で、外袋を製造する作業工程において、ポリエチレンチューブを製袋機の送り出しローラーにセットする。本来SERVOスイッチをOFF状態（安全装置が働く）にしハンドルを回しローラーを回転させ手動でセット出来るところ、スイッチをON（安全装置解除）の状態でもハンドルを回そうとしたが回らず、JOGスイッチ（前後に自動でローラーをゆっくり回転させる）を押しセットしようとした為に、チューブと一緒に手を挟み込み右手を負傷した。	46	7	169	30 ~ 49
87	2017	1	17~18	当社工場内に於いて、引き戸式鉄製扉の取っ手を右手で持ち、扉を引いて閉めていたところ右手が滑り、取っ手から手が離れ、その勢いで閉まった扉の間に右手小指を挟み負傷した。	52	7	419	10 ~ 29
88	2017	1	11~12	労働者派遣先にて、プラスチック射出成形機操作を終え、左手でカッターナイフを使ってパージ作業を行っていた際、機械の警報音が鳴ったことに驚き、慌てて作業を行ったところ、誤って右手示指にカッターの刃が接触し、第一関節から付け根にかけて切創を負った。	53	8	364	10 ~ 29

89	2017	1	11~ 12	FRP（ガラス繊維強化プラスチック）製造ライン内に設置のス テンレス槽の汚泥除去の為、槽本体を外して移動させる際、バ ランスを崩して槽が転倒し、倒れた槽と架台に右腕を挟まれ て、前腕尺骨を骨折した。	35	6	391	50 ~ 99
90	2017	1	16~ 17	工場内にて、工程へ補給する部品が急ぎで必要となったため、1 階へ続らせん階段の1階付近で足を踏み外し転倒し、数段を前 向きに落下した。その際、1階階段下に準備してあった台車の 柄の部分に眉間をぶつけ、同時に左膝を強打し、負傷した。	59	1	413	50 ~ 99
91	2017	1	13~ 14	当社事業場内において、原料を機械に加える作業中、踏み台 （30cm程）に乗って原料を入れて降りようとした際、足を踏み 外した。	38	1	379	10 ~ 29
92	2017	1	8~9	事業場敷地内において駐車場から事業場へ徒歩で移動している 際に、地面が凍結していた所を通ったところ、転倒して腰を 打った。	31	2	719	50 ~ 99
93	2017	1	10~ 11	第三工場より第一工場へイスを取りに行くために廊下に出た際 に、廊下に立てかけてあったダンボールが倒れて、その上に 乗った際に、滑って転び左手親指と顔面を床にぶつけた。	50	2	417	100 ~ 299
94	2017	1	15~ 16	第1生産棟調合室において、一斗缶上部をV字カッターで開口さ せ、内部洗浄を行っていた際、手元を滑らせてしまい、缶の切 り口部分で右手親指甲部を切傷した。	24	8	521	50 ~ 99
95	2017	1	22~ 23	工場内で床に置いていたコードに、荷物を抱えていた状態のと きに足が引っ掛かり、よろめいて数歩前に進んだのち、前方に あった作業台に衝突して受傷した。	54	3	379	—
96	2016	12	0~1	原料補給のため、2階原料投入所において、固定ホッパーに フォークリフトを使用し搬入用ホッパーを2段設置し、投入用 ホッパーの原料抜き込みのため抜き口の開口作業を行った時、 投入ホッパーの台座付近に左脛が当たり損傷した。	53	3	391	50 ~ 99

97	2016	12	15～ 16	工場内でトラックに積み込みをしている時、リフトのパレットから降りようと踏み台にのろうとして滑って落ちた。	62	1	222	1～ 9
98	2016	12	7～8	倉庫作業場から成形室外側の通路を使ってトイレに向かっている際、床が水で濡れていた為に滑り、転倒した。	74	2	417	30 ～ 49
99	2016	12	16～ 17	工場内において、プラスチック材料の小分け作業中、25kgの紙袋を右わきに抱えて作業していたところ、袋が滑って落ちそうになったので急いで左手で支えようとした為、左手首を捻ってしまった。	32	19	611	10 ～ 29
100	2016	12	12～ 13	工場の休憩室で、昼食後休憩中にストーブの前で座って寝ていた。目覚めた時、頭の中が真っ白で、立ち上がった時に右足に左足がひっかかり、左側に倒れた。その時に両手をついた。	65	2	417	30 ～ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。